団体名	船橋古文書の会		
事業名	読んでみませんか！古文書講座（初級編）	種別	Ⅰ型（1年目）

課題

・古文書は中高年の生涯学習として人気の高いが、学習機会が限られている
・自治体などの主催の講座は、無料ないし安価だが抽選により受講できないことも多い
・中高年には、退職後の人的交流の場の発見が難しい

事業内容・目的

読んでみませんか！古文書講座（初級編）

【目的：中高年に人気の古文書に関する学習機会の提供】

☑ いつどこで？
1日目…令和3年12月11日（土）
習志野台公民館講堂
2日目…令和4年2月12日（土）
高根台公民館講堂

☑ 参加者は？ 一般市民等
（1日目 56名、2日目 55名）

☑ 講師は？ 小代 渉氏
〈東京堂出版編集部長〉

☑ 講座内容は？
・三庁秘録（江戸町奉行関係の文書）を使った初級者向けの「くずし字講座」
※講座終了後は、復習用として解読文と解説文の内容を期間限定で公開

事業費(A)	79,366円
事業収入	2,600円

支援金(B)	62,322円
事業費に占める支援率(B/A)	78.5%

事業費内訳（単位：円）

1	講師謝礼	40,000	4	イベント保険料	4,000
2	文具・消毒用品費	16,526	5	会場使用料	10,220
3	チラシ・ポスター・資料印刷代	8,620	1～5 合計(A)		79,366

効果

・生涯学習として古文書学習を継続するきっかけになった
・自主学習中心になりがちだが、中高年世代の交流や同好仲間と共学する機会に繋がった

工夫したこと

コロナ感染拡大に伴い開催を一度は断念しましたが、古文書講座は座学聴講のため、ソーシャルディスタンスの確保と感染対策を充分行えば可能と判断し、公民館講堂（定員二百名超）での開催としました。幅広く参加者を募集するため、広報ふなばしや地域新聞、ポスターチラシ、HP・ふなばし市民力発見サイトなど多面的な広報活動を行いました。

担当者より

一回目は会の認知度が低く募集人数ギリギリでしたが、二回目は募集人数を大幅に超えキャンセル待ちが出る盛況でした。目標にしていた高齢者の参加に加え、現役世代も参加し熱心に受講していました。また終了後アンケートも多く寄せられ次回の講座への改善点も見つかったことは嬉しい限りでした。

更に、これをきっかけに、会の認知度も上がり、定例会の見学に十数名の希望者が参加し、その中から新しい会員十名を迎え入れることができたのは、会として何よりの喜びでした。

【1 日目写真】

会長挨拶

冒頭で船橋市の支援事業として、講座及び講師の紹介を行いました。

講義中の様子

受付(写真左下)では遮蔽シートを活用し、感染症対策に配慮しました。

【2 日目写真】

講義中の様子①

定員(219 名)に比べ、机椅子席では感染対策を考慮すると大幅減(Max70 席)となりました。

講義中の様子②

講師は黒板に大きな文字を書いて解説。後ろからも見えるよう、太字マーカーやマーカー消しなどを用意しました。

団体概要:当会は平成十年、船橋市内の有志が集まって設立した古文書学習の同好会です。定例会は薬円台公民館を基本に月二回開催しています。地元千葉や船橋の古文書を取り上げて地域文化の掘り起こしを行うとともに、国立公文書館などの古文書を広く取り上げて読んでいます。特に力を入れているのが、新入会員への教育です。独学で断念する方も多い古文書学習を古参会員が援助し、新入会員が出来るだけスムーズに会の活動に参加できるようバックアップする制度です。また、一般の方を対象とした古文書講座を開催し、古文書の面白さを体験いただく活動も行っています。

問合わせ先	氏名: 井上 正道 090-5444-4227 inouefa@skyblue.ocn.ne.jp